

環境フェア&ガイドウォーク

ちょうふ環境市民懇談会
環境モニター



6月7日(土)調布駅南口広場にて環境フェアが開催されました。環境市民懇談会のブースでは、環境モニター、人間・樹林の会、雑木林塾、総合学習プロジェクトの展示と午後には環境モニター主催のガイドウォークが行われました。コースは調布ヶ丘、佐須地域。榎本さんを中心にモニターみんなで参加して下さった市民の方々をガイドしました。

まずは調布駅前南口広場を出発し北口に続くガードを通過して、天神通りを北に進むと第1の目的地大正寺に着きます。市内の3つのお寺を合併し大正4年に創設されたのが始まりとのことで、境内ではカヤの木、ネムの木などを見ることができました。第2の目的地は布多天神。「延喜式神名帳」延長5年(927年)に記載される多摩有数の古社で、太閤秀吉の制札と狛犬は市指定文化財になっています。なんとといっても布田天神はケヤキの大木です、見るたびにその迫力に圧倒されます。第3の目的地は調布ヶ丘3丁目の大寒桜。緑の葉に覆われた木はとても美しく、満開の時は、多くの人々の眼を楽しませてくれるだろうと思いました。野川で休憩の時、2羽のカワセミの姿に大喜び、第4の目的地虎狛神社に向かいました。神社手前には真っ白な花を咲かせたヤマボウシ



の大きな木が立っています。神社の中にはイヌシデ、イチョウなどの古木大木が多く豊かな緑を満喫しました。最後の目的地は佐須のSさん宅の庭。詳しい方によると貴重な種類の野草がいっぱい。いわゆる原種も多いと聞いて参加者一同びっくりしました。



●調布の自然

～佐須用水～

人が住み着く条件の一つが飲料水です。洪水の心配がない湧水地には太古の時代から人が住んでいます。佐須用水もおそらく太古の時代から人に利用されてきたことはほぼ間違いないところでしょう。いまでも、田んぼから石器ができることはそれを証明しています。きれいな水で命をつないできたものは、人間ばかりではありません。用水路が整備されたにもかかわらず、ナガエミクリ(長柄実栗)がほそぼそと生きています。上流では、ヘイケボタル、ゲンジボタルも生き続けています。絶滅危惧種がこれほどありながら保全される気配がありません。まだ大丈夫だと思っているのかもしれませんが、なくなってからでは遅いのです。(尾辻)

今月の活動報告

- ・ 人間・樹林の会
- ・ 雑木林塾
- ・ 総合学習プロジェクト
- ・ 田んぼの学校

人間・樹林の会

連日の梅雨空に、またしても雨か？と予想された6月15日(日)は、午前中、くもり空の中、12名の参加者で作業と話しあいをしました。

まず、5月の作業の続きで、木のナンバーリング。1本見落としていたため合計233本になりました。1~100までは白、101から200までは黄色、201から233まではピンクの札が木につけられています。通路側の木には、名札をつけ、通りゆく人たちにアピールする予定です。

樹林地は、連日の雨の恵みと、マテバシイを伐採した後の太陽の光、そして鳥たちのおかげで、広場と通路には、草やキノコがはえてきています。ヨウシュヤマゴボウ・サンショウ・アズマネザサ・マテバシイのひこばえ、ムクなど自己主張してきました。きくらげ他、キノコもあちこちに顔をだし、中でも、はじめは黄色で裂くと青く変色する毒？キノコはカメラのレンズが集中しました。毎木調査を終えて、今後マップ作り、樹林地の将来を考える、ワークショップ、隣接の市有地の調査をしながら保全活動をしていきます。一人ひとりがそれぞれの「ワザ」を磨いて、この樹林地の魅力や緑の保全活動を多くの人に語れるようになるといいな、と夢がふくらみます。(安部)



雑木林塾今年度初現地活動



6月21日午後1時へびやまに集合。予定としては、現地を見て草刈り・笹刈りをする場所を決めるということでしたが、ざっと見渡してから、とりあえず南側の暗い部分の下草刈りを試みようということになりました。参加人数が5人と少なかったため、笹を刈った範囲は狭かったのですが、それ以外にもシュロやアオキを伐採すると、見違えるほど明るく風通しの良い場所になりました。参加者の一人が鳥取の郷里にいた頃シュロ縄を

縄ったことがあるということで、切り倒したシュロの皮を剥ぎ、作り方を教えてもらいました。すぐにコツをつかみ、うまく出来た人、出来ない人。次回活動でも作ってみようということになりました。

刈った笹などはとりあえず1ヶ所にまとめて積んでおきましたが、次回は枠囲いを作りきちんと整理したいと思います。その後、榎本さんにカマの研ぎ方を指導していただき、各自道具の手入れをして終わりました。(K)



調和小でサポート開始 ～総合的な学習の時間支援事業～

6月4日と16日の2回にわたり調和小学校4年生の総合的な学習の時間をサポートしました。年間テーマは野川。4日は「野川で生き物を探そう」ということで、元気に、生徒たちと野川に入り生き物探し。採り方など事前に学んだことを生徒とともに実践し、モツゴ、ヒメダカ、フナ、ナマズ、ザリガニなどたくさんの生き物が採れました。生き物は、数日間教室で観察したあと野川に戻しました。

16日は、生き物、川のごよれ、石、植物など生徒たちが考えたテーマにそって活動しました。野川の水を汲みアンモニアや硝酸の濃度をパックテストで測定し水質を調査するグループなど熱心に活動できたと思います。サポーターは生徒に答えを言うのではなく、誘導し一緒に考えるよう心がけました。
(A)



2003 ちょうふ DE 田んぼ日記その3

大人も子どもも横一列に並び、25cm間隔に印の付いた横綱を頼りに、校長先生の合図「はい、どうぞ！」の声にしたがっての手植えでした。皆、植え終わったら一步下がって、自分の足跡を丁寧にならします。横綱が下がり、再び合図があったら、また植える。この繰り返しでした。各自、苗を2～3本ずつ指にはさんで「しっかり育てよ！」と植え付けました。参加者が多かったためか、事前に行った“荒起こし・くろつけ・しろかき・苗取り”の準備が良かったためか、作業はとても順調に進み、予想外に短時間で終了した“田植え”でした。

田んぼをお手伝いしている竹内さんに、「田植えは100点満点！」とお墨付きを頂いたそうで、大感激です。苗代七分で、後は天に祈るだけではありませんが、秋の実りが今から楽しみです。

「ついに田植えだ！」



作業終了後「雨ニモマケズ…」ビニールハウス内で行ったご苦労様の乾杯は、すばらしく美味でした。私たちのかわいい苗ちゃんの成長を祈って、再び心の中で乾杯！

(受講生 村田)



どんぐり林公園 活動

日時 7月5日(土) 9時30分～12時
 集合場所: どんぐり林公園
 内容: 「落葉だめづくり」など
 主催: 富士見町地区協議会

入間・樹林の会 活動日

日時: 7月20日(日) 9時30分～12時
 内容: 方形柵調査・樹林地の今後について
 集合場所: 入間町地域福祉センター
 持ち物: 軍手・飲み物・筆記用具
 その他: 作業できる服装で・虫除け対策も

ガイドウォークに参加しませんか

日時: 7月13日(日)
 9時30分～12時の予定(荒天中止)
 集合場所: 調布駅南口広場噴水前
 持ち物: 飲み物、筆記用具、バス運賃(調布から二枚橋まで)
 野川公園から近藤勇の眠る竜源寺など調布市野水、西町周辺を歩きます。
 案内役は調布市環境モニターです。
 定員: 20名
 申込: 環境保全課に7月11日(金)までに



ちょうふ環境市民懇談会メーリングリストに参加しませんか?

ちょうふ環境市民懇談会では、多くの方と日常的に意見交換を行うために、メーリングリストを運営しています。参加希望の方は下記アドレスにご連絡ください。
 問合せ・申込み:(尾辻)
kp5y-otj@asahi-net.or.jp

環境市民懇談会 連絡会議 に参加してみませんか?

連絡会議は各プロジェクトや市内で活動しているグループの情報交換の場です。現在活動している方、これから何かやってみたいなと思っている方、どなたでもお気軽にご参加ください。

紙面の都合上詳しい情報を掲載することができません。イベント等の詳細についてはお気軽に下記へお問い合わせください。また、お便りなども受け付けています。

会議のスケジュール

日時	場所	活動名/内容
7月7日(月) 18:30~20:30	市役所4階 第4会議室	環境モニター 世話人会
7月9日(水) 18:30~20:30	たづくり3階 304会議室	環境市民懇談会 運営委員会
7月10日(木) 18:30~20:30	市役所3階 第3会議室	入間・樹林の会 世話人会
7月18日(金) 18:30~20:30	たづくり3階 301会議室	環境市民懇談会 連絡会議
7月22日(火) 13:30~16:00	市役所3階 消費者コーナー	ニュースレター 編集作業
7月30日(水) 13:30~15:30	市役所3階 消費者コーナー	ニュースレター 発送作業

ちょうふ環境市民懇談会は、調布の自然環境を保全・改善・回復していくために、「話し合いの場や、活動の交流・支援、人材育成、啓発活動、情報の収集や発信」といった活動をパートナーシップをもとに進めていくことを目的に設立されました。ぜひ、様々な環境保全活動へ参加してください。

お問合せ先: 調布市環境部環境保全課
 TEL: 0424-81-7086

E-mail: kankyout@w2.city.chofu.tokyo.jp
 発行: ちょうふ環境市民懇談会